

## 【代表的な研究テーマ】

### □ 英文法に関する第二言語習得研究

### □ 効果的な英文法指導法の開発：動詞の用法に焦点を当てて

Keyword：英語教育、第二言語習得、英文法指導、英語学習者

私はコミュニケーションの活動中心の英語の授業を主に担当しています。私たち英語学習者がコミュニケーションの活動を行うためには、英語の正しい知識を持ち、かつ英語を使う力を養うことが不可欠です。そのような力を養うため、研究では主に、文法に焦点を当て、「第二言語習得研究」と「英文法指導法の開発」を行っています。

#### 1. 英文法に関する第二言語習得研究

私たちが第二言語（英語）を学習する際、例えば“The window broke.”という自動詞文を見ると、文法的に正しい文にもかかわらず「誤りである」と判断し、“The window was broken”という受動態の文に修正したがる英語学習者が多く観られることがわかっています。

どうしてこのような現象が観察されるのでしょうか？その理由は何なのでしょう？

このような第二言語の習得のメカニズムを明らかにするため、特に文法に焦点を当てて、英語学習者を対象に、文法項目に対する習得の程度を調査、分析を行っています。

#### 2. 効果的な英文法指導法の開発：動詞の用法に焦点を当てて

英語学習者が正しく文法を理解できるための効果的な英文法指導の内容と方法を開発しています。その指導法を実際に授業で実践し、学習者の文法知識の変化を調査しています。

特に上記で挙げたような、「自動詞と他動詞の混同」という現象に焦点を当てています。

学習者が動詞の用法を正しく理解できるように、教師が実践できる指導法を開発しています。

#### ・特筆すべき研究ポイント：

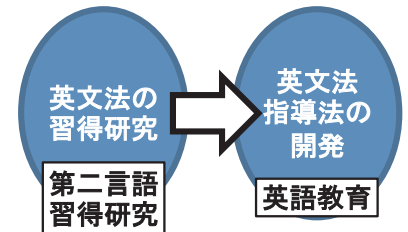
・「第二言語習得研究」で得た知見を、英語教育、特に「英文法指導法の開発」に応用することが、私の研究のポイントです。（右図参照）

・第二言語を習得する際には、母語（日本語）の知識等、様々な要因からの影響を受けています。そのような要因を考慮して、効果的な英文法指導を開発しています。

#### ・関連書籍等：

大瀧綾乃・白畑知彦（2018年）「英語能格動詞の構造に関する明示的文法指導の効果；明示的文法指導の指導内容に焦点を当てて」.教科開発学論集 第6巻. pp.47-57.

白畑知彦・須田孝司（編）（2020年出版予定）『第二言語習得研究モノグラフシリーズ4』くろしお出版より一章：白畑知彦・近藤隆子・小川睦美・須田孝司・横田秀樹・大瀧綾乃「日本語母語話者による英語非対格動詞の過剰受動化現象に関する考察 主語名詞句の有生性と動詞の完結性の観点から」を共同執筆



大瀧 綾乃

学院情報学領域  
情報社会学系列  
講師

#### ■ 相談に応じられる関連分野

- ・英語教育分野（特に 英文法指導法／英会話・プレゼンテーション技能向上のための英語授業）
- ・第二言語習得研究分野（外国語（英語）の習得）

#### ■ その他の社会連携活動

- ・第5回・第6回 英和イングリッシュコンテスト（小学生対象）審査員（静岡英和女学院中学高等学校，2015年，2016年）